



## 森永乳業の育児ニュース『エンゼル110番レポート第56号』発行 「ここが困った！子連れ外出事情」 ——100人のお母さんに聞きました——

森永乳業株式会社(港区芝 5-33-1、社長:古川紘一)は、時代とともに変わりつつある母親像の理解に役立つことを願い、1993年4月から「エンゼル110番レポート」を発行しております。この「エンゼル110番レポート」は、育児相談窓口「エンゼル110番\*1」への相談内容から、毎回育児に関する傾向についてまとめています。

\*1 「エンゼル110番」は、「子育て奮闘中のお母さんたちのために何かお役に立てることは…」と考え、1975年5月に開設した無料の育児相談窓口です。

今回の「エンゼル110番レポート」は、1999年に実施した「子ども連れのお母さんが見た街づくり(Vol.25)」をテーマに、電話による調査を実施しました。その結果からは、施設面の不備や街の中のさまざまな障害のために、行動範囲が狭められているママたちの様子がうかがえました。前回の調査から10年。ママたちにとって、街は子育てにやさしくなっているのでしょうか？最近の子連れ外出をとりまく状況をリサーチしました。

### 調査の概要

- 対象 : 「エンゼル110番」にお電話をいただいた子育て中のママ100人
- 調査方法 : 電話による聞き取り調査
- 調査期間 : 2008年10月9日～12月4日
- 対象者の属性 : 「母親の年齢」20代…23人、30代…69人、40代…8人  
「子どもの年齢」6ヵ月未満…25人、1歳未満…52人、1～2歳代…21人、3歳以上…2人  
「子どもの性別」男の子…48人、女の子…52人  
「居住地」 首都圏…54人、首都圏以外…46人

### 主なアンケート結果

1. 子連れ外出するときの主な交通手段の変化は前回に比べて大きな違いはなく、依然交通公共機関は利用しにくいものである。
2. 施設によつての格差は大きいものの、大型ショッピングセンターや大型スーパーには子連れ外出をサポートする充実が見られる。
3. 育児に積極的に参加するパパが増えてきているが、男性が入れる授乳室やトイレが整っていない。

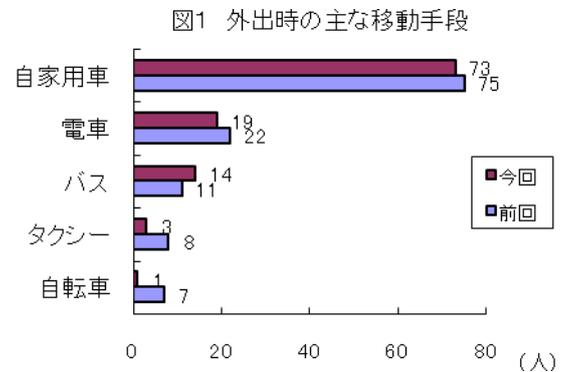
## 調査内容

(複数回答 N=100)

### 移動手段は車が多数派

子ども連れで外出する時の主な移動手段を聞いたところ、最も多いのは「自家用車」で、100人中73人が利用していました(図1)。続いて、「電車」19人、「バス」14人となっており、前回の調査結果に比べて大きな違いは見られませんでした。

「荷物、ベビーカー、子どもを抱えて、バスや電車には乗れない」「ぐずったりして周囲に迷惑をかけそうだから車でしか外出しない」といった声からうかがえるように、10年前も今も、ママたちにとって、公共交通機関が利用しにくいものであることは変わらないようです。



### 子連れ外出はやっぱり大変

子ども連れで外出したときに、不便に感じることを、「道路」「買い物場所」「交通機関」の3つの場面に分けて聞いてみました(表1)。

#### ●道路

ほぼ同数の人があげたのが「歩道が狭い」(35人)、「段差がある」(34人)「ガタガタの路面」(33人)の3項目でした。ベビーカーが必需品であるママにとって、段差や地面の凹凸は大きな障害です。「階段などがあると、時間がかかっても遠回りする」という声もありました。

また、「放置自転車が歩道をふさいでいる」ことに不便を感じたとするママは7人いました。さらに、この間とは別に、最近自転車との接触事故が多いことから「走行中の自転車に危険を感じたことがあるか」をたずねたところ、半数を超える54人が「ある」と回答。「小学生がフラフラしながら乗っていて、それがベビーカーにぶつかりそうになった」「猛スピードで脇をすり抜けられ、ひやっとした」「自転車からバッグがはみ出していて、ベビーカーにぶつかった」と、事故につながりかねない経験をしている人も、少なくありませんでした。

#### ●買い物場所

最も多かったのが、「授乳場所がない」の24人。続いて「おむつ替えの場所がない」(20人)、「通路が狭い」(18人)、「エレベーターがない」(13人)でした。

最近のスーパーなどでは授乳室やおむつ替えの場所が設置されているところも少なくないものの、「不衛生で、使うのがためらわれる」「奥まった場所にあってわかりづらい」などの声があり、実際に使う人の立場に立った配慮が十分ではないと感じられました。

#### ●交通機関

最も多かったのが「駅にエレベーターがない」の21人。続いて電車やバスは「ベビーカーで乗り降りしにくい」(20人)、「駅の階段にスロープがない」(8人)、「駅に授乳する場所がない」(7人)でした。「エレベーターはあるが、ベビーカーを乗せると一杯になるので肩身が狭い」「エレベーターがあっ

も、ホームの先端にあって使いづらい」など、設備は10年前に比べ少しずつ整ってきているとはいえ、使いづらいというのが現状のようです。また、「ベビーカーを置く場所がないので、バスに乗るには抱っこひもしか使えない」「ベビーカーで電車に乗るとまわりの人が迷惑そうにする」など、電車もバスもベビーカーを使うママにとっては非常に利用しにくく、「そもそも公共交通機関は利用しない」(23人)という結果につながっていることがわかりました。

表1 外出時に不便を感じた場面（複数回答 N=100）

道路	人	買い物場所	人	交通機関	人
歩道が狭い	35	授乳場所がない	24	駅にエレベーターがない	21
段差がある	34	おむつ替えの場所がない	20	ベビーカーで乗り降りしにくい	20
ガタガタの路面	33	通路が狭い	18	駅の階段にスロープがない	8
歩道が独立してない	19	エレベーターがない	13	授乳する場所がない	7
階段	9	カート、ベビーカーがない	11	おむつ替えの場所がない	7
放置自転車	7	子供と入れるトイレがない	10	バスの座席が狭い	3
歩道の傾斜	7	エレベーターが狭い	7	エレベーターが使いづらい	3
路上駐車	3	自動ドアがない	4	交通機関を利用しない	23
特になし	17	特になし	22	特になし	26

また、これら3つの場面で、「便利だった」「よかった」と感じたことがあるかどうかについてもたずねたところ、最近増えている大型のショッピングセンターや大型スーパーを評価する声が多数を占めました。「授乳室が充実していて清潔。電子レンジまであった」「おむつ替えの場所に流し台があった」「ベビールームがあって、育児相談もしてくれる」「おむつ専用のごみ箱がトイレにあった」という声からは、かゆいところに手が届くようなサポートぶりがうかがえますが、商業施設の充実度にはかなりの格差があるようです。

### パパの育児参加にも配慮を

最後に、「子ども連れででかけやすい街であるための改善点」をたずねました。「道路や歩道の整備」に関することを挙げたママが27人と最も多く、「段差をなくしてベビーカーを使いやすくしてほしい」「歩道を広くしてほしい」「歩道と車道を分けてほしい」といった声が多く寄せられました。続いて、「子ども連れで入れるトイレ、授乳室の設置」が15人、「トイレや休憩室を清潔にしてほしい」が5人でした。前回の調査とほぼ同じ内容の改善点があげられており、ママたちから見た街の利便性は、地域差もあるのでしょうか10年前も今も、あまり変わっていないといえそうです。

今回特徴的だったのは、「駅やスーパーに、パパがおむつ替えのできるトイレを設置してほしい」という声が複数寄せられたこと。育児に積極的に参加する男性が徐々に増えてはいますが、社会の仕組みがそれに応えられていないことがうかがえます。

また、道路の段差や施設の不足などハード面の障害以上に大きいのが、子ども連れのママたちをとりまく社会の目です。「ベビーカーで出かけると、歩道でも店でも『邪魔』という顔をされる」「子連れ

でレストランに入っていやな思いをした。入り口に子ども可、不可を明記してほしい。気を遣いながら入るよりその方がましなので」といった声からは、常に周りの目を意識し、子どもとの外出を心から楽しむことができないママたちのようすがみえてきます。

こうしたママたちの声は、高齢者や障害者の方たちから街を見た時にも、重なる部分が多いのではないのでしょうか。エレベーターやスロープなどの設置は少しずつ進んできてはいても、より「誰もがどこでも動きやすい街づくり」そして「子育てを社会全体が受け入れる意識づくり」が求められていることを、改めて確認した調査結果でした。

**【HOT VOICE】** \*アンケートにお答えいただいたお一人お一人の声を集めました。

### 『私たち、こんなところに困ってます』

#### ●道路

- ・周りから迷惑そうな顔で見られることがよくある。もっと優しい目でみてほしいし、子どもがいることを前提にした街づくりをしてほしい。(31歳/11ヵ月)
- ・歩道のさくに穴があいていて、子どもが手を突っ込んでけがをしそうになった。子どもの目線で安全を確認することが必要と思う。(34歳/2歳4ヵ月)
- ・横断歩道が少ないし、あっても車は止まってくれない(25歳/8ヵ月)

#### ●買い物場所

- ・男性が入れる授乳室や、子どもと入れるトイレがないので、パパが育児をする時に困る。(35歳/3ヵ月)
- ・ベビーカーを置いておくところがなく、しかたなくベビーカーで動くが、買い物かごがあると身動きが取れない。(29歳/8ヵ月)
- ・スーパーなどに屋根つきの駐車場がほしい。雨の日に赤ちゃんを車に乗り降りさせる時に困る。(32歳/9ヵ月)

#### ●交通機関

- ・ベビーカーを畳んで赤ちゃんを抱っこするのは大変なので、バスにはできるだけ乗らないことにしている。(31歳/9ヵ月)
- ・電車の中で子どもが窓の外をみて声をあげたりすると、周りから冷たい目で見られる。(27歳/10ヵ月)
- ・駅のエレベーターがどこにあるかわからず右往左往。地下鉄の乗り継ぎマップのようにエレベーターマップがほしい。(43歳/1歳)